

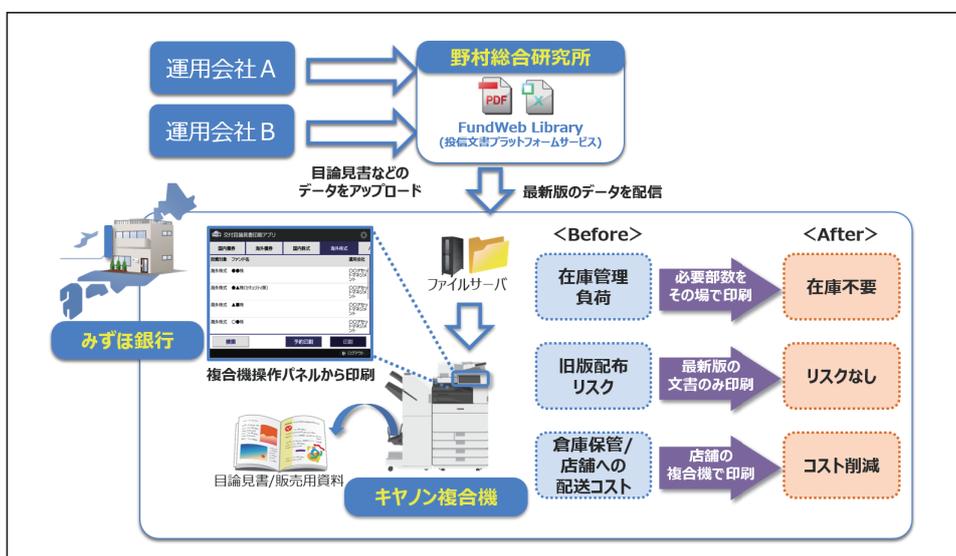
NEWS RELEASE

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

業務プロセスを最適化する「目論見書オンデマンド印刷システム」 をみずほ銀行、野村総合研究所と共同で構築

キヤノンマーケティングジャパン株式会社(代表取締役社長：坂田正弘、以下キヤノン MJ)は、株式会社みずほ銀行(取締役頭取：藤原弘治、以下みずほ銀行)、株式会社野村総合研究所(代表取締役会長兼社長：此本臣吾、以下NRI)と共同で、「目論見書オンデマンド印刷システム」を構築しました。本ソリューションは、投資信託の契約手続きにおけるリスク管理と生産性の向上を両立することでお客さまの業務プロセスの変革を支援します。

キヤノン MJ は、金融機関や製造業、公共・流通業向けにドキュメントソリューションを生かした新たな価値を提供するデジタルソリューションを展開していきます。



金融業界を取り巻く経営環境は、長期にわたる低金利政策や人口減少、収益力の低下により厳しさを増し、ビジネスモデルの変革が求められています。金融機関は、金融庁の「金融デジタルイノベーション戦略」に基づき、異業種連携などによる革新的なサービスの創出だけでなく、生産性向上のため業務プロセスの変革を推進しています。

こうした中、金融機関では投資信託を扱う上で顧客本位の業務運営を行う必要があります。コンプライアンスの遵守と業務効率化の両立が課題となっています。投資信託の勧誘や販売ではタブレットによるペーパーレス化が進む一方、交付義務のある「交付目論見書」^{※1}や「運用報告書」「販売用資料」は、お客さまからの要望もあり主に印刷物で提供しています。各店舗では、目論見書の有効期限の確認、補充、棚卸、廃棄など人手による在庫管理負荷や旧版配布のリスクが課題となっており、加えて各運用会社からの目論見書を一次保管する集中倉庫の保管コストや各店舗への配送コストが発生していました。

キヤノン MJ は NRI が提供する投信文書プラットフォームサービス「FundWeb Library」^{※2}から、PCレスで簡単に複合機^{※3}の操作パネル上で必要なデータを参照、検索し印刷する「目論見書オンデマンド印刷システム」をみずほ銀行と共同で構築しました。これにより、多種多様な目論見書データを一元管理し、目論見書が必要な時に必要部数をお客さまの場で出力できるようになりました。常に最新の目論見書を出力することで、旧版配布のリスクを防止すると共に、倉庫から店舗への配送が不要となり、保管・配送コストの大幅な削減を実現します。

キヤノン MJ は、今後も AI や IOT などの新しい技術と今まで培ってきたキヤノン独自の映像技術や画像処理技術を生かし、金融機関のデジタルトランスフォーメーションの推進と働き方改革を支援することで、金融業界向けソリューション事業の拡大を目指していきます。

■ 目論見書オンデマンド印刷システムの特長

- ・ 最新版の文書のみ印刷：旧版の配布リスク回避
- ・ PC レスで印刷：複合機の操作パネル上でデータの参照、検索、印刷が可能。
直感的で使いやすい独自の UI を採用
- ・ 印刷体裁の強制設定：ホチキス留め等を強制することで落丁リスクを回避
- ・ 付帯書類の自動印刷：交付目論見書の付帯書類も自動で印刷することで配布漏れを防止

※1 投資判断に必要な重要事項を説明をした書類。投資信託を販売する際に投資家への交付が義務付けられている。

※2 NRI 社が提供する「FundWeb Library」は、運用会社と販売会社間の目論見書や運用レポート等(投信文書)のやりとりを効率化する投信文書プラットフォームサービス。

(お問合せ先：株式会社野村総合研究所 投資情報サービス事業部 045-613-7200/e-mail:fwlibrary-sales@nri.co.jp)

※3 キヤノン製の「オフィス向け複合機 imageRUNNER ADVANCE」。

-
- 報道関係者のお問い合わせ先：キヤノンマーケティングジャパン株式会社
広報部 パブリックリレーションズグループ 03-6719-9093(直通)
 - 一般の方のお問い合わせ先：キヤノンマーケティングジャパン株式会社 ITソリューション企画部
ドキュメントソリューション企画課 03-6719-9370(直通)
 - 金融ソリューションサイトホームページ：canon.jp/fss
 - ニュースリリースホームページ：canon.jp/newsrelease
-

<金融ソリューションサイトの概要 URL：canon.jp/fss >



キヤノン MJ グループは、2017年9月に金融機関向けソリューションを集約した「金融ソリューションサイト」を公開しました。本サイトでは、銀行(メガバンク・地域金融機関、信託銀行)、生命保険会社、損害保険会社、証券会社・ノンバンクにカテゴリー分けし、各業種・業態にあわせたソリューションと活用事例を紹介しています。

今後も、キヤノン MJ グループは業務生産性向上を支える最先端のイメージングテクノロジーと金融業界で長年培ってきたノウハウや豊富な業務知識に基づき、金融機関向けの生産性向上とお客さまの利便性を両立するデジタルトランスフォーメーションを展開していきます。